

平成 31 年度事業報告書

テーマ：医療・介護・福祉ネットワークの連携を図り、心身機能の自立支援と安心ある暮らしの地域交流を目指す

サブテーマ：利用者・家族との信頼関係を深め、多職種と連携し安全で安心できる看護を提供する

白楽荘 医務室

1. 安全で安心した生活を送れるよう健康管理を行う

高齢者の特徴を踏まえ、他職種と連携し、利用者・家族の意思を尊重した看護を行う

利用者個々の疾患・心身の状態を把握し、内服管理を行った。また、他職種から情報を収集し異常を早期に発見・対応することができた。日頃から家族とのコミュニケーションを図り利用者・家族の思いを尊重した看護を行い、信頼関係を深めることができた。

クリニックと連携し、入退院の適切な対応ができる

家族の意向を確認し、医師の判断と合わせて受診や入退院の見極めを行った。また、地域連携室との連絡を密にし、入院中の状態を確認、退院カンファレンスに参加し継続看護の提供ができた。

褥瘡の発生や、拘縮の予防・改善

臥位姿勢の評価やポジショニングについて学習し、取り組むことができたが、統一したサービスの提供は不十分な点が多かった。褥瘡の発生は 13 件(7 名)、入所前からの持ち込み 5 件(5 名)。治癒 8 名、治療中 2 名、死亡 2 名であった。

2. 看取りケアの充実

多職種により自然で安らかな最後を迎えられるよう支援する

看取り期における過剰な医療を控えるようになり、自然な経過で最後を迎えることができるようになった。